

# フジパングループ Presents

## 2021ロバパンCUP 第53回全道U-12サッカー大会

### 開催要項

赤字箇所更新 7/20

- |    |                      |   |
|----|----------------------|---|
| 1  | 主 旨                  | 道内の少年サッカーで活動している子供たちの一層の心身の向上とサッカー技術の向上を目指し、併せてクリエイティブでたくましい将来のサッカー選手を育成するために全道のサッカー少年が相集い交流と親睦を深めるため本大会を開催する。  |
| 2  | 名 称                  | フジパングループ Presents 2021<br>ロバパンCUP 第53回全道U-12サッカー大会  |
| 3  | 主 催                  | 公益財団法人北海道サッカー協会   |
| 4  | 主 管                  | 一般社団法人十勝地区サッカー協会  |
| 5  | 共 催                  | 北海道新聞社、北海道新聞 HotMedia   |
| 6  | 後 援                  | 北海道文化放送株式会社、北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会、公益財団法人北海道スポーツ協会北海道スポーツ少年団<br>帯広市、帯広市教育委員会、帯広市スポーツ協会  |
| 7  | 協 賛                  | フジパングループ・ロバパン   |
| 8  | 期 日                  | 2021年8月7日(土)、8日(日)、9日(月・祝)<br>8月7日(土) 監督会議、開会式、1回戦<br>8月8日(日) 2回戦、準々決勝<br>8月9日(月・祝) 準決勝、決勝、閉会式  |
| 9  | 会 場                  | 帯広の森球技場<br>住所 帯広市南町南7線56番地7<br>TEL 0155-48-2401(帯広の森スポーツセンター)   |
| 10 | 参 加 資 格              | (1) 「参加チーム」は2021年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。別に定める地区割り当てにより所轄の地区協会が代表と認めたチームであること。<br>(2) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。<br>(3) 同一参加選手が異なる加盟チームへの移籍後、再び参加することはできない。<br>(4) 第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。ただし、前項(3)は適用される。<br>(5) 「参加チーム」及び「参加選手」は、各地区の代表となったチーム・選手とする。当該チームの地区大会への登録選手が16人に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手の中から補充することができる。<br>(6) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、ベンチ入りするチーム役員の2名以上が(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。<br>(7) 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。<br>(8) 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。 |
| 11 | 参 加 チーム<br>及 び そ の 数 | 参加チーム数は32とする。<br>札幌8 函館3 小樽1 空知1 旭川3 釧路1 十勝3 室蘭2<br>苫小牧2 北空知1 千歳1 道北1 オホーツク2 根室1 宗谷1<br>開催地1(今年度は十勝地区)<br>「参加チーム」の構成は、選手16名以内、引率指導者4名以内とし、同一「加盟チー   |

- ム」内の地区予選で敗退したチームの選手を追加することができる。
- 12 競技規則 (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。  
但し、詳細に関しては、本大会用として競技方法に定める。
- 13 競技方法
- (1) 32チームによるトーナメント方式により優勝、準優勝を決定する。
  - (2) 競技のフィールド
    - フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。
    - ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
    - その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。
  - (3) 試合球 公認4号球を使用する。
  - (4) 競技者の数および交代
    - 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
    - 登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
    - ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
    - 交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
  - (5) テクニカルエリアは設置しない。
  - (6) ベンチ入りの人数
    - 交代要員8名、引率指導者4名とする。
    - その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
    - 2名以上の引率指導者がベンチに入ることを義務付ける。
  - (7) 試合時間
    - 試合時間は前、後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで)は原則10分とする。
    - 同点の場合はいわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、準決勝及び決勝戦では前、後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しないときはPK方式で勝者となるチームを決定する。
  - (8) 暑熱下において、前・後半中に飲水タイムを採用する。(採用については、大会本部で決定し、チーム・審判員へ伝える。)
  - (9) 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数:2名以内
- 14 ユニフォーム
- (1) (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、(2)以下については、一部本大会の緩和規定として採用する。
  - (2) 本大会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ・ショーツおよびソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。(正・副の2色については、明確に異なる色とする。  
※なお、大会主催者が認めた場合に限り、デザインやロゴが異なっても同系色のユニフォームであれば着用を可能とする。)
  - (3) 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、両チームの立ち会いのもとに、その試合におけるユニフォームを決定する。また、その際は、登録された2組のユニフォームのうちからシャツ・ショーツおよびソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。(ゴールキーパーのみ、登録された4組のユニフォームから判別しやすい組み合わせを決定することができる。)

- (4) ゲーム進行時、ゴールキーパーがフィールドプレイヤーとなる場合(その逆の場合も)については、シャツの交換のみでもよいこととする。また、その場合、ゴールキーパーは、他の選手との判別がつくのであれば、ゴールキーパーとして登録しているユニフォームでなくてもよいものとする。
- (5) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
- (6) アンダーシャツ・タイツの色は問わないが、チーム内で同色のものを着用する。
- (7) 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- (8) ユニフォームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。
- 15 審判員 主審、副審(2人)、予備審判の4名で運営する。  
※グリーンカードを積極的に採用するように心がける。
- 16 マッチウェアオフィサー 全ての試合において配置する。
- 17 懲罰 (1) 本大会の予選は懲罰規定上の同一当該競技会とみなし、予選終了時で退場による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。  
(2) 本大会の予選で受けた警告については、累積として本大会には、持ち越さないものとする。  
(3) 本大会は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。  
(4) 大会規律委員会の委員長は(公財)北海道サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。  
(5) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。  
(6) 本大会期間中において退場を命じられた競技者等は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の措置については規律委員会において決定する。  
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。  
(7) 本大会諸規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。
- 18 参加料 24,200円(税込)
- 19 参加申込 参加チームは以下の手続きを期日まで完了すること  
(1) 参加申込書・プライバシーポリシー同意書・チーム集合写真(1MB以上)の提出  
Eメールで所属地区協会事務局まで送付すること  
(地区協会経由で申込先A, Bに送付)  
(2) 大会参加料(24,200円)を下記申込先Bの参加料納入口座へ振込むこと。  
(3) 親権者同意書は捺印の上、下記申込先A宛に郵送すること。  
※ 提出期限はすべて2021年7月21日(水)17時必着とする。  
【申込先A】 (公財)北海道サッカー協会  
〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41  
北海道フットボールセンター内  
TEL (011)825-1100 FAX (011)825-1101  
【申込先B】 (一社)十勝地区サッカー協会  
〒080-0018 帯広市西8条南18丁目3-3  
TEL 0155-21-6626  
E-mail tfa@tokachifa.com  
【参加料納入口座】  
銀行名:帯広信用金庫 中央支店  
口座番号:普通 1213914  
口座名:(社)十勝地区サッカー協会

- 20 組 合 せ 2021年7月22日(木) (公財)北海道サッカー協会において行う。  
※組み合わせは(公財)北海道サッカー協会 HP の「大会情報・4種」で確認すること  
※7月26日(月)以降に HP 掲載予定
- 21 帯 同 審 判 (1) 参加地区協会は公認審判員(2級以上)を必ず帯同させること。その氏名、級を主管協会に提出のこと。コーチとの兼務を可能とするが、審判業務を最優先とすること。(監督との兼務はできない。)  
(2) 帯同審判員は、大会期間中、要請を受けた審判業務に当たらせるものとする。  
(3) もし帯同できない場合は18,700円(税込)を大会参加料と同時に納入すること。
- 22 選 手 証 各チームの登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし写真貼付により顔の認識ができるものであること。選手証とは、本大会では、(公財)日本サッカー協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録一覧を印刷したもの、またはスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。
- 23 選 手 変 更 選手変更・追加登録は所属の地区協会を通じ E メールにて(公財)北海道サッカー協会および主管協会に届出のこと。提出期限はすべて2021年7月29日(木)17時必着とする。
- 24 監 督 会 議 (1) 日時 2021年8月7日(土) 11時00分より  
※但し、感染症の状況によっては、実施をせずに、事前に大会本部より文書にて注意事項や確認事項の周知を行うこともある。  
(2) 会場 帯広の森スポーツセンター2階会議室  
※監督会議を実施する場合は、監督は必ず出席のこと。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。
- 25 開 会 式 2021年8月7日(土) 11時50分より  
※但し、感染症の状況によっては、実施しない場合もある。その場合は、各チームへ事前に連絡をする。  
※開会式を実施する場合は、選手・指導者は、全員参加すること。欠席の場合、は大会への参加を停止することもある。
- 26 閉 会 式 2021年8月9日(月・祝) 決勝戦終了後  
(準決勝まで残ったチームの選手・監督は全員参加することを原則とする。)  
※但し、感染症の状況によっては、実施しない場合や簡素化して行う場合もある。
- 27 表 彰 (1) 1位から3位(2チーム)に、トロフィーと賞状を与える。優勝カップは持ち回りとする。  
(2) 全試合を通して、技術、ファイト、マナーの優れている選手に優秀選手賞(15名)を与える。  
(3) 平素の指導の成果を本大会において十分に発揮したと認められる指導者(1名)に、優秀指導者賞を与える。
- 28 そ の 他 (1) 本大会は大会期間を通じて「感染対策担当者」を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。  
(2) 大会参加チームは、新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインやチェックリストに沿って行動し、感染拡大の予防に努めること。なお、大会の途中で関係者から感染者が出た場合は、本大会運営委員会において協議の上、対処する。  
(3) 優勝チームは(公財)北海道サッカー協会ホームページで写真入で紹介する。  
(4) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会運営委員会(主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長等で構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。